# このを読んで



### 第4回 読みきかせの達人が選ぶ 著作権保護コンテンツ

### ●×このむ読んで!

## 親子で読んでほしい絵本大賞機





今年も、「親子で読んでほしい絵本大賞」作品が、JPIC読書アドバイザー108名の投票で 決まりました。今回から大賞を含む10作品に加え、新しく赤ちゃん絵本から1冊を選ぶ、 「ベビー賞」が新設されました。絵本の目利きたちのコメントも秀逸です。

また、小誌読者のみなさんにも「読者賞」に投票いただきありがとうございました。 今回は4位以下が3作品同率となる激戦でした。上位入賞の6作品を発表いたします。

★コメントを寄せていただいた方の敬称略、順不同

- ★タイムリミットの13分前に家を出て、 ワニのいる水たまりや巨大なイヌの横 を通り抜け、走るのになかなか進まず、 ようやく学校にたどりついたそのと き! あせる心理状況がよくわかり、 最後には学びもあります。親子で楽し (22期 間宮成美)
- ★読みきかせをしていて、大人も楽しめ ました。子どもたちをおはなしの世界 に導き、本を好きにするのはこういう 本ではと思いました。

(24期 立花みどり)

★表紙を開いた途端に、大人も子ども時 代へ。ページをめくるたびに、親子で ハラハラドキドキする感じを、1秒1 秒、体感共有できます。しかも最後の、 遅刻したくないワケに思わず、おお! と感動と納得の答えが。

(27期 本多よしえ)

★絵の迫力に圧倒されました。

(27期 松永幸代)

- ★絵が、ダリを思わせてユニーク。学校 に遅刻しそうという、誰もが経験のあ る事柄を描いていて親しみが持てま す。ラストがいい! (13期 早川裕)
- ★疾走感が爽快。そしてラストの空を見 上げるシーンで、一気に世界が広がる 感覚を味わうだろう子どもたちを、か たわらで見守っていたいなあと思いま した。 (16期 小出綾美)
- ★子どもの気持ちが、迫力のある絵とび ったりフィット。共感と一緒にどんど ん引き込まれていくジェットコースタ 一のような気持ちよさがありました。

(10期 原 亜矢子)

★ありえない展開と個性的な絵に圧倒さ れながらも、男の子のあせりと緊張に 共感。日常の中で流れていく時間の重 さも感じます。男の子が今日、絶対に 遅刻できない理由も素敵なので、子ど もと大人、一緒に楽しんでほしいです。

(21期 湯阪美智子)

★苦手ゆえに巨大化したように描かれる イヌ、開かずの踏切は「ゴンゴンゴン ゴンゴンゴンゴン」と鳴りやまず。不 思議な世界観に親子でどつぷり浸か つてほしい! (15期 中村典子)

★スピード感あふれる魅力的な絵と予想 外の結末に感動しました。学校図書館 におすすめの絵本です。

(26期 谷川志穂)

★あわてて学校に向かっている男の子の まわりは、世界も時間も異空間になっ てしまいます。そのあせる気持ちに、 親子で一緒にハラハラドキドキ、臨場 感あふれる絵本です。

(21期 灰岡美樹)

★小学校が近いのに毎朝遅刻していた 私。まるでこの絵本の主人公と同じ。 こんなことがあったらうれしかったな。 (13期 豊増良子)

★スピード感のある絵と言葉が臨場感 抜群! (4期 諸岡弘)

★3月14日に、ザ・キャビンカンパニーさんをお招きして、表彰式を行います。 式の様子は、次号誌面にてお伝えいたします。 お楽しみに!

#### 親子で読んでほしい絵本大賞とは

親子でもっと絵本を楽しんでほしい! いい絵本を親子に届けたい!

との思いを込めて、JPIC 読書アドバイザークラブ(JRAC)により創設されました。 選出方法: JRAC 会員40名からなる選考委員が、「この本 読んで!」2022年春号~冬号の4号で 紹介された新刊絵本400冊の中から大賞候補作12作品を選出。それを、JRAC 会員有志が読み、 12作品の中から1~3位を選んで投票しました。

※ JPIC 読書アドバイザークラブについての説明は、P57下部に記載しています。





以下の書店に設けられます。くわしくは下記まで、

FUTABA+ プリコ垂水店(兵庫県神戸市



# 松岡亭子さんがのこしたもの

子どもたちに良質な本を手渡すことが、どれほど大切なことかを体現し、私たちに教えてくださった松岡享子さん。 全国の図書館司書、家庭文庫の主宰者のあこがれであり、目標でした。

いつも笑顔でユーモアあふれる松岡さんのお仕事やプライベートでの思い出を、10名の方に伺いました。 松岡さんが手掛けた作品もたっぷり紹介、68ページからは著作リストも。

写真/石川正勝 (P15、P19、P26~27) 取材協力/(公財)東京子ども図書館



子どもたちは、

つの時代にも「

お

その子の中 ら思い浮か れを語ってく きっとからだにとっ 子どもたち自身がそ 。幼い日に、耳からはいっ くださ !」と、せが 心にとってお話が必要だっだにとって食べものが必 本を読んであげてくだ れた人の声とぬくも くることので れを聞きなが

たお話は、

してあ

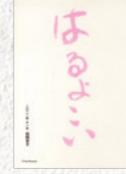
「はじめに」より



いつも東京子ども図書館の事務室の 一角に座り、仕事をされていました。

お話は、

ものだ



松岡さんが年賀状用に墨で書 いたものをピンク色で印刷。

2022	2021	2016	2011	2006	1999	1997	1993	1992	1990	1987	1974	197′
1 月	10 月	3 月	5 月	<b>4</b> 月	11 月	12 月	11 月		11 月	3 月	1 月	5 月
逝去(従四位旭日中綬章受彰)	文化功労者に選出	名誉学位(教育文化博士)授与神戸女学院大学より	日本児童文芸家協会児童文化功労賞	図書館サポートフォーラム賞	巌谷小波文芸賞	日本絵本賞翻訳絵本賞	博報賞	(1994年も) 国際アンデルセン賞選考委員	エイボン女性年度賞教育賞	子ども文庫功労賞	(2015年6月名誉理事長)(財)東京子ども図書館設立、理事長	児童福祉文化賞奨励賞『とこちゃんはどこ』で「ゆかいなヘンリーくん」シリーズおよび

2019年12月24日、「月例お

話の会」500回記念にて。

1969 1964 1962 1957 1960 1970 1967 1963 1935年 9月 3月 3 6月 6 月 月 月 月 月 (6年7月まで) 大阪市立中央図書館勤務 米国メリーランド州 に改称)中央編集委員(5年まで)「ユネスコ・アジア太平洋地域共同出版計画」ユネスコ・アジア共同出版計画(のちに 家族は両親と8歳上の姉兵庫県神戸市生まれ サンケイ児童出版文化賞『くしゃみ くしゃみ 天のめぐみ』 開設東京都中野区に家庭文庫「松の実文庫」 修士課程修了。秋に帰国ウェスタンミシガン大学大学院図書館学科 慶應義塾大学文学部図書館学科卒業 神戸女学院大学文学部英文学科卒業 (63年10月まで) 州ボルティモア市立 卜公共図書館勤務

連動フェア実施!

経

歴

受賞

歴

この特集で紹介した絵本の コーナーが以下の書店に設けられます。くわしくは下記まで にこにこ書店 (東京都新宿区 03-3565-6232 ブックハウスカフェ (東京都千代田区) 03-6261-6177

# たんぼぼ たんぼぼ かなん ちゅんこ

#### 『たんぽぽ たんぽぽ』

作/みなみじゅんこ 1,210円(アリス館) タンポポの綿毛たちが、風にのつ て旅を始めます。向こうのお山 まで行くことができるでしょう か。動物たちが歌う歌詞とその 楽譜が巻末についています。



#### 『だって春だもん』

写真・文/小寺卓矢 1,540円 (アリス館)

見渡す限り凍てつく森では、動くものは何もありません。でも、かすかに聞こえる、「とつ とつ」という音。氷から生まれた小さなしずく。ちょろちょろと水が流れだしたら、春はもうすぐそこです。



著作権保護コンテンツ

#### 『おねぼうさんはだあれ?』

文/片山令子 絵/あずみ虫 1,540円 (Gakken)

D-A, EDG APC (AGO) (175-66, 802EC 55-7 1-655 (A-0, 802E, 8886 C515,

scoto seguidos scoted

ウサギのミミナちゃんは花をつみ ながら、冬ごもりからなかなか起き てこない友だちの家を訪ねて歩き ました。クマのフワくんも、ヤマネ のクルリくんも、まだ眠たそうです。



# はるだね

#### 『あ、はるだね』

文/ジュリー・フォリアー/ 絵/エリン・E・ステッド 訳/金原瑞人

1,540円 (講談社)

冬はあたり一面が茶色の季節。地面に種をまいて水をやり世話をする男の子と、じっと寄り添う飼いイヌ。待ち続けたある日、芽が出て地面は緑色に変身しました。



野原一面に咲いているタンポポ。 やがて綿毛になって風に運ばれ ていきます。種が根づいて芽を 出し、成長していく過程を美しい 細密画で克明に追っていきます。



#### 『たんぽぽでんしゃ』

作・絵/ひろかわさえこ 1,320円(ひさかたチャイルド)

口コちゃんとナナちゃんは仲よ し。でも遠足の日、口コちゃんは 風邪をひいてお休みです。ナナち ゃんは人見知りで、ほかのお友だ ちとは仲よくできないのでした。



#### 『草花とともだち - みつける・たべる・あそぶ -』

構成/松岡達英 絵・文/下田智美品切れ中(偕成社)

野にも山にも、やわらかな日ざしがいっぱいさしてくる春の訪れ。 木の枝や川辺には新しい生命が息吹き始めています。春の草花たちと、友だちになって遊びましょう。



#### 『おぼろ月のおさんぽ 「銀色」』

詩/ウォルター・デ・ラ・メア 絵/カロリーナ・ラベイ 訳/海後礼子 1,540円(岩崎書店)

春の宵、まん丸の月があたりを銀色に照らすと、森の奥では妖精たちが集まって、音楽会が始まります。 どこからともなく集まった動物たちも音に合わせて踊ります。



#### 100



作/鈴木智子

りました。

1,430円 (アリス館) クマのぬいぐるみと一緒に春の 野を散歩している、黄色い服を 着た女の子。チョウチョが胸に とまって、素敵なブローチにな



#### 『ねっこぼっこ』

作/ジビュレ・フォン・オルファース 訳/秦 理絵子 1,650円 (平凡社)

春はもうすぐそこまで来ています。大地の母さんは野の花や小さな虫たちに「さぁ、起きなさい」と告げていきます。P39『根っこのこどもたち目をさます』と同じ原作を、秦理絵子さんの訳で



#### 『じいじのさくら山』

作/松成真理子 1,430円(白泉社) さくら山の桜の木は、うれしいことが あるたびに、じいじが大切に植えて育 ててきました。ひとつひとつの木に触 り、じいじはあいさつをします。やが て年月がたち、じいじが病気でふせっ てしまいました。



#### 『さくららら』

文/升井純子 写真/小寺卓矢 1,540円 (アリス館)

北海道の4月はまだ雪の中です。それでも桜の木は、枝の先に栄養を送ってつばみを育てます。五月晴れの日には小鳥たちも遊びにきます。ツクシやタンポポに誘われて、ようやく満開になりました。



#### 『さくらの谷』

文/富安陽子 絵/松成真理子 1,430円(偕成社)

山並みのずっと西のほうに、誰も知らない、桜の花で埋もれた不思議な谷がありました。そこでは懐かしい人たちが楽しそうに歌を歌い、お重を広げ、お花見をしていました。

#### 『はるいちばん』

作/青山友美 1,540円 (講談社)

生ぬるい風。昨日とは風が変わった! と思った朝は、街を抜けて、川を渡って、岬の灯台まで一目散に走ります。そこに「ごごごごどどどど」と大きな音を立てて春一番がやってきます。





#### 『じゃがいもヒーロー スーパーポテイトゥ』

作/スー・ヘンドラ、ポール・リネット 訳/木坂 涼 1.430円(岩崎書店)

ここは、真夜中のスーパーマーケット。 パタン! と音がして、冷凍庫から抜け 出した豆が、野菜たちに悪さをしてい るようです。そこに登場したのは、スー パーポテイトゥ! 悪さをする豆を追



#### 『しかくいのの じかん』

文/パメラ・ポール 絵/ベッキー・キャメロン 訳/ギョウ・ヤマグチ 1,760円(イマジネイション・プラス)

今夜もしかくいのの時間がやってきま した。お父さんは棚からしかくいのを 選ぶと、男の子をだっこしておはなし を始めます。こんなときは、ネコを片方 の手でナデナデしてあげるのが「正し い絵本の時間」なのです。



#### 『ことばとふたり』

いかけて、大活躍をします。

文/ジョン・エガード 絵・訳/きたむらさとし 1,760円(岩波書店)

言葉を知らない生きものがいました。 楽しい、おいしいと感じても、何と言っ たらいいのかわかりません。でも、悲し く、苦しい気持ちでいるとき、言葉を知 る生きものと出会い、ふたりは、言葉と 一緒に暮らすようになりました。



#### 『じじつは じじつ、ほんとうの ことだよ ちいさな かなしい じじつの おはなし』

文/ジョナ・ウィンター 絵/ピート・オズワルド 訳/金平茂紀 1,870円(イマジネイション・プラス)

小さな悲しい「じじつ」の大切さを誰も まじめに考えませんでした。でも「じじ つはじじつ、ほんとうのこと」なので す。世界ではたくさんの「うそ」がばら まかれていました。「じじつ」はどうな るのでしょうか。



#### 『そうなのよ』

文/内田麟太郎 絵/高畠 純 1,540円(絵本館)

カバの頭に木がはえた! 動物たちに いろいろなことが起こります。なん で? どうして? 答えは「なんとな く」。でも誰も気にしません。さあ、次は 誰に何が起きるのか、想像して楽しみ ましょう。



#### 『おばけの しかえし』

文/内田麟太郎 絵/山本 孝 1,540円(岩崎書店)

殿さまにおばけ退治を言いつけられた 豪傑がやってくるのを見て、おばけの 子どもたちが震えあがつています。赤 鬼も青鬼も化け猫もやられてしまいま した。最後の毒グモがやられる……と なったとき、子どもだるまの声が響き ました。



#### 『ふんがふんが』

文/おおなり修司 絵/丸山誠司 1.540円(絵本館)

ゴリラのパパはこのごろ太りぎみで す。そこでジョギングを始めますが、後 ろから恐ろしいヒョウが迫ってきて海 に落ちてしまいました。「ふんがふん が」と繰り広げられるダイエット奮闘 記。



#### 『おまえたち、くっちゃうぞ~! わにがめの アルと ちいさな さかなたち』

作/ジョン・ヘア 訳/万木森 玲 1.760円(岩崎書店)

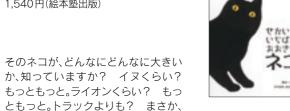
ワニガメは、川底でじっと動かず、口を 大きく開けて、ピンクの舌をミミズの ようにゆらゆらさせて魚をおびき寄せ ます。魚が近づいたらパクッと口を閉 じる、それが食事です。ある日、口の中 に、たくさんの魚が集まりました。



#### 『せかいで いちばん おおきな ネコ』

作/風木一人 絵/ひろかわさえこ 1,540円(絵本塾出版)

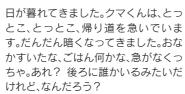
いくらなんでも大きすぎます。





#### 『かえりみち とっとこ』

文/ひろまつゆきこ 絵/こやまともこ 1,430円(岩崎書店)





#### 『みち』

作/三浦太郎 1,430円(あすなろ書房)

男の子と女の子が進んでいます。あぜ みち、こみち。道は上がったり、下がっ たり、迷ったり、回り道をしながらも続 きます。疲れたら、ちょっとひと休み、 行き止まりになったら? 大丈夫、ど んどん進めば、道はできます。



#### 『いろって なあに?』

作・絵/アリス& マーティン・プロベンセン 訳/こみやゆう 1,980円(アノニマ・スタジオ)

色ってなんでしょうか。匂わないし、味 もしないし、触れてもわかりません。で も、見ることはできます。黄色、青、赤に 緑。あらゆるものに色があって、常に変 化している。それは、まるで生きている ようです。



2022年9~11月に発売された新刊絵本の中から **読みきかせにもおすすめの100冊を選びました。** 子どもたちと素敵な時間を過ごしてください。

※出版社五十音順 ※ 合は右開きの本。

マークは乳幼児から、(iii) は中・高校生も楽しめる本です。

新刊絵本プレゼントの詳細は、このページの下欄をご覧ください。

#### 『いろいろ のりもの のりたいな』

作/おおでゆかこ 1,540円(アリス館)

子グマのカーリーと黒ネコのミニ。今 日は、どんな乗りものに乗ってお出か けしたい? ながーいバスで町にやっ てくると、乗りものがいっぱい。バスに パトカー、船にロケット。いろいろな乗 りものに乗って探検です。



#### 『1まいのがようし』

作/長坂真護 1,650円(あかね書房)

ガーナのスラムの村では、子どもたち は手伝いをすると、日本円で約20円の お金をもらうことができます。ある日 絵描きを名乗る男が現れて、20円で1 枚の画用紙を買えば、絵の描き方を教 えると言いました。



もう

読んだ?

#### 『たびする木馬』

作/针丹靖佳 1,760円(アリス館)

遠い国で生まれた木馬は、男の子にブ ランと名づけられ幸せでした。けれど メリーゴーラウンドが売られ、ブラン は村から村、港から港へと旅をするこ とになります。旅の間には、出会いの喜 びも別れの悲しさもありました。



#### 『にだんべつど』

作/斉藤 倫、うきまる 絵/五十嵐大介 1,650円(あかね書房)

2段ベッドの上はお兄ちゃん、下は妹 が寝ています。妹は上で寝てみたいと 思うのですが、お兄ちゃんは上は危な いからまだ早い、と言うのです。そんな ふたりは、ある夜ベッドごとゆうれい の国に来てしまいました。



#### 『あきの おわりの てんこうせい』

作/ジャン-リュック・アングルベール 訳/はしづめちよこ 1,760円(イマジネイション・プラス)

冬ごもりを前にした子グマが、森で拾 った帽子をかぶっていると、同じ帽子 をかぶった子どもたちが子グマを見つ け、学校へ連れていきました。転校生と 思われた子グマは、子どもたちと楽し い時間を過ごします。



#### 『すかしてビックリ! 手のしくみ』

作/イダン・ベン=バラク、 ジュリアン・フロスト 訳/宮坂宏美

1,650円(あすなろ書房)

ポヨンとモクモクがニョリーの誕生日 会に行く途中、乗っていた宇宙船にト ラブルが起きてさあ大変! 解決する には「手」が必要。でも、手はどうやって 動かすの? 私たちも参加しながら-緒に手の仕組みを学びましょう。



※JPIC 直販の定期購読の方に、抽選で新刊絵本100冊から1冊をプレゼントします。巻末のアンケートハガキまたはホームページのアンケートフォーム から応募してください。

#### 著作権保護コンテンツ

#### プログラム (各10~15分) 小学校高学年

#### 4月 テーマ: 新生活のスタートに

#### ●『文房具のやすみじかん』

文/土橋 正 絵/小池壮太 1,430円(福音館書店) 身近な存在、文房具に目を向けて。きっと新 生活のいい相棒になってくれます。広い教室 でも遠目がききます。



#### ②『あなたがおとなになったとき』

文/湯本香樹実 絵/はたこうしろう 1,540円 (講談社)

タイトルにもなっているくり返しの言葉を丁 寧に。ゆっくり心をこめて届けましょう。



#### 5月 テーマ: 自分の居場所って?

#### **①**『わたしのいえ』

作/カーソン・エリス 訳/木坂 涼 1980円(偿成計)

人間の住む家だけではなく、動物や小人のい るところも想像してみたいものです。



#### ②『ぼくは建築家 ヤング・フランク』

作/フランク・ビバ 訳/まえじまみちこ、ばんしげる

建築家のおじいちゃんと孫のやりとりが痛快 なおはなしです。自由に表現することの大切 さにも気づかされます。



#### **❸** 『あさになったので まどをあけますよ

作/荒井良二 1,430円(偕成社)

大自然の近くや都会のまち。それぞれの窓か らの風景が広がります。朝のはじまりに、自 分の居場所を肯定したくなる1冊。



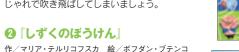
サルラかさしたの ①

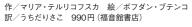
#### 6月 テーマ: 空を見上げてみよう

#### **● 『やまださんちの てんきよほう』**

作/長谷川義史 1,320円(絵本館)

お天気が気になる季節。ゆううつな予報もだ じゃれで吹き飛ばしてしまいましょう。





一滴の水が化学変化をしながら冒険する様子 に引き込まれます。軽快なリズムで。



作/長田弘 絵/荒井良二 1.540円(講談社)

冒頭の「あっ雨」は間をしっかりとって。何度 も口ずさみたくなる美しい詩と、変わりゆく 空の色が印象に残ります。



(古市未央)

#### プログラム (各10~15分) 小学校中学年

#### 4月 テーマ: 自分で決める

#### **●** 「まっくろ」

作/高崎卓馬 絵/黒井健 1,760円(講談社) 枠を超えた表現。心に浮かんだことを描くに は、1枚の画用紙では足りません。少年の描き たかったものとは?



#### 

文/升井純子 写真/小寺卓矢 1,540円(アリス館) 自分の一歩を踏みだすおはなし。日本でいち ばん遅く咲く桜は、遅い春の訪れの中で、じ つくり開花の準備をして、その日を待ちます。



#### ❸ 『おくりもの』

作/豊福まきこ 1,540円 (BL出版)

自分の体の特徴を嫌って落ち込むのではなく、 それを生かすことを伝えます。その一歩で、 みんなの心があたたかくなります。



#### 5月 テーマ: 草木のぬくもり

#### ●『ふしぎなガーデン

知りたがりやの少年と庭

作/ピーター・ブラウン 訳/千葉茂樹 1.650円 (ブロンズ新社)

道端に咲く草花を見たことがありますか? どんな場所でも、自然には生き抜く力があり、 草木の強さを知るきっかけになります。



#### 2 [木]

画/佐藤忠良 文/木島始 1,100円(福音館書店) 「木」を、観察してみませんか。長い間、その 場所で成長してきた「木」をじっくり見てみる と、いろいろな発見があります。



#### 6月 テーマ:本の中の絵本から

#### ● ひかりのぼうけん

作・絵/マリー・ヴォイト 訳/俵 万智

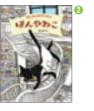
主人公と一緒に、絵本の中を冒険しましょう。 ベティに案内されて、絵本から飛び出してき たコスモが、夜の世界を冒険します。



#### ② 『ほんやねこ』

作/石川えりこ 1.760円 (講談社)

最初に「いくつおはなしがわかるかな?」と声 かけします。おはなしの主人公が次々に登場 し、いろいろなおはなしを知るきっかけにな ります。



#### (増田穂里)

#### 4月 テーマ: 友だちいっぱいつくろう!

プログラム (各10~15分) 小学校低学年

#### **①**『あいさつってたのしい』

文/石津ちひろ 絵/松田奈那子 1,430円(小学館) あいさつするたびに仲間が増えていき、心が 明るくなります。



#### **の**「えらいこっちゃのいちねんせい」 文/かさいまり 絵/ゆーちみえこ 1.430円 (アリス館)

「えらいこっちゃ」と言いながら、学校生活に なれていこうと自分を励ますまきのくん。



#### 5月 テーマ: ひとりじゃないよ

#### ● いつもいっしょに」

作/こんのひとみ 絵/いもとようこ 1,540円 (金の星社)

ひとりぼっちのクマの家にウサギがやってき て仲よくなりますが、何も話してくれないウ サギに不満を持つクマ。ウサギの涙を見て理 解して、やさしい気持ちになります。



#### **②** 「みんなとおなじくできないよ 障がいのあるおとうととボクのはなし

作/湯浅正太 絵/石井聖岳 1,760円 (日本図書センター)

障がいを持つた弟を大切に思い、理解しなが ら成長していくお兄ちゃんの物語。



#### **❸**「ミカちゃんのひだりて」

作/中川洋典 1.408円(ひかりのくに)

人と違う行動をするミカちゃん。ミカちゃん の左手が気になるユリちゃん。絵を描くこと が好きなミカちゃんの左手が活躍します。



#### 6月 テーマ: 「思いやり」を考える

#### ●『花のかみかざり』

作/いもとようこ 1,430円(岩崎書店)

ウサギの看護師には忘れられない悲しいでき ごとがありました。抱きしめるのは愛してい るしるし。抱きしめられるのは愛されている しるし。やさしさに包まれた物語。



#### ② 「おまえ うまそうだな」

作・絵/宮西達也 1.320円 (ポプラ社) 草食恐竜と肉食恐竜という血がつながらない

親子の絆が描かれていて、心があたたまり ます。



#### (鶴見美佐子)



対象別おはなし会のプログラムです。 ここで紹介する絵本や紙芝居は、 ご家庭での読みきかせにもおすすめです。 ブックガイドとしてもご活用ください。

#### 行事絵本・季節の絵本

#### 『まほうのさんぽみち』

作/ロビン・ショー 訳/せなあいこ 1,540円 (評論社)

私とパパは、散歩に出かけます。それは、楽 しくて、不思議な散歩です。でも、いちばん の楽しみは、最後の最後にあるんです。



#### 『おふくさんのてるてるぼうず』

文・絵/服部美法 1430円 (大日本図書)

にこにこ、仲よく暮らしているおふくさんたち のところに、「雨をやませろ!」と鬼がやってき ました。さて、どうしましょう?



#### 『ゆっくり ゆっくり』

脚本/岡田なおこ 絵/尾崎曜子 2.310円 (童心社)

しゃべるとき、動くとき、みかちゃんは、み んなとちょっと様子が違います。でも、ゆっ くり、ゆっくりならできるんです。



#### 『そらまめおいしい!』

脚本/江川多喜雄 絵/宮本忠夫 2.090円 (童心社)

豆にはいろいろな種類があります。ソラマメ もそのひとつ。秋に種をまいて、芽を出して から冬を越え、初夏に収穫のときを迎えます。



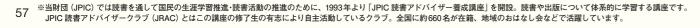
#### 『ワーニー はみがきできるかな』

脚本・絵/いとうみき 1.540円(竜心社)

ワーニーは歯磨きをしません。歯をきれいに してくれるのは、友だちのツッキーでした。 でもある日、ツッキーが遠くへ行ってしまい ました。



(安冨ゆかり)



#### 新しい図書館の新たな取り組み ―中央区立京橋図書館 本の森ちゅうおう―

### 今、さまざまな 現場で SDGsが熱い! 子どもたちの未来と SDGs絵本

SDGs (エスディージーズ) とは、Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)の略称で、 国連が2030年の達成に向けて定めた、全世界の人たちが持続的に人間らしく生きるための、 国際社会共通の17の目標のことをいいます。

連載第13回の今号は、2022年12月4日に東京都中央区「本の森ちゅうおう」内に移転した、 「中央区立京橋図書館」のみなさんにお話を伺いました。

取材・文/小山まゆみ











もらえるよう、引き続き展示は定ですが、ひと目で興味を持って

簡易

展示としての魅力もなくなっ

棚に本をみっちり並べてしまう

約3カ月

まし



















誰もが親しみを持って利用できる生涯学習拠点として整 備された「本の森ちゅうおう」。京橋図書館と郷土資料館 が併設され、こどもコーナーは2階、Teensコーナーは3 階にあります。屋上には庭園があり親子連れに人気。

> SUSTAINABLE DEVELOPMENT

2階のSDGsコーナーに並べられているのは、すべて児童 書。17の目標ごとに、必ず1冊は面出しで展示しています。 貸し出し冊数ははじめに想定していたよりもかなり多く、 表紙の見える本からどんどん貸し出されていくそう。





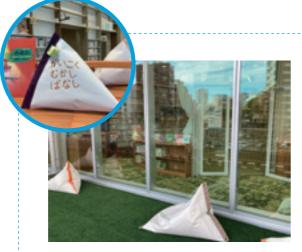
コーナーにはSDGsの大きな看板が掲げられていて、遠く からもすぐ目にとまります。「本の森ちゅうおう」の建物は ガラス張り。SDGsコーナーは興味を引きやすいよう、外 の庭からも見えるところにあります。



SDGsコーナーの隣に、スウェーデン生まれの「りんごの棚」 を新設。"すべての子どもたちが読書を平等に楽しめます ように"という思いのもと、点字本など特別なニーズのあ る本を集めています。こちらも拡充予定。



こどもコーナーのバルコニーは「おはなしの部屋」の先。靴を 脱いで入ります。書棚の上などにジャンルを示した手づくり



階ごとにバルコニーがあり、外気にふれることができます。 の飾りがあり、ここにも視覚的な楽しさが。

中央区立京橋図書館 館長と児童担当職員のみなさん

「移転開館後、来館者数が3倍以上に。児童書の貸 し出し冊数は2倍に増加しました。特に親子連れ 設して新たなスター した複合施設「本の森ちゅう 郷土資料館も併 を切っ に開館

います。 たちに関心を持ってもらえるよ 特に設けていませんでした。 う、視覚的な効果にこだわ 広くはなく、SD それまでの児童書コーナー を確保できました。そこで、 くうえで重要なテ 新しく常設コー G 丁どもたちが成丁どもたちの関 s I 児童書コ

の方が増えています」(総括館長の五所和弘さん)。

SDGsIII 移転開館に伴い

を新設